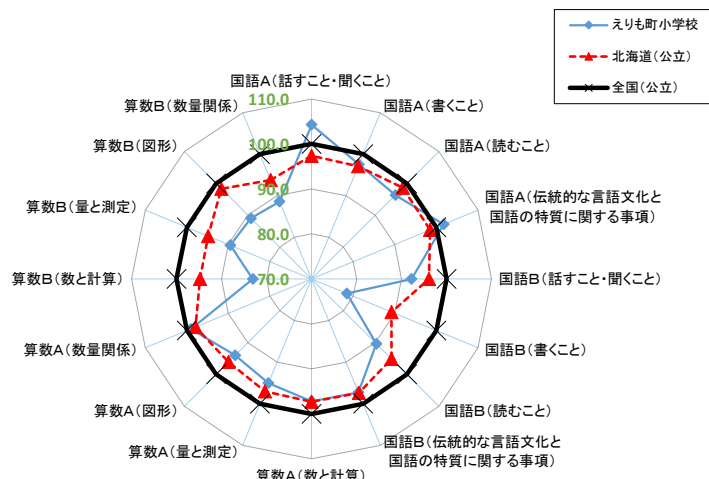


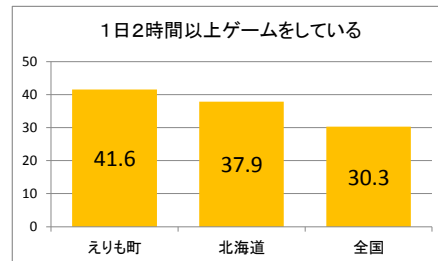
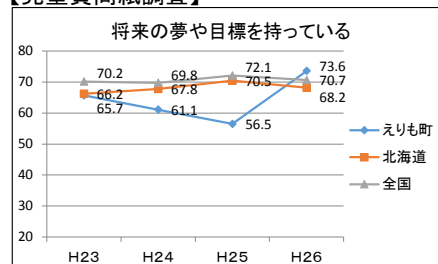
■ えりも町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:53名)

【教科全体の状況】

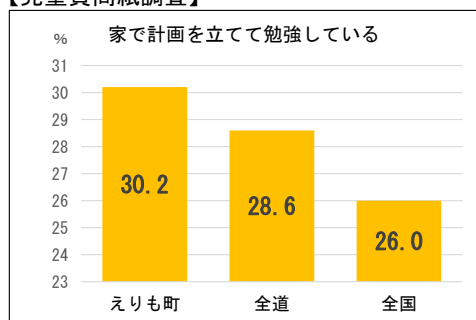
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



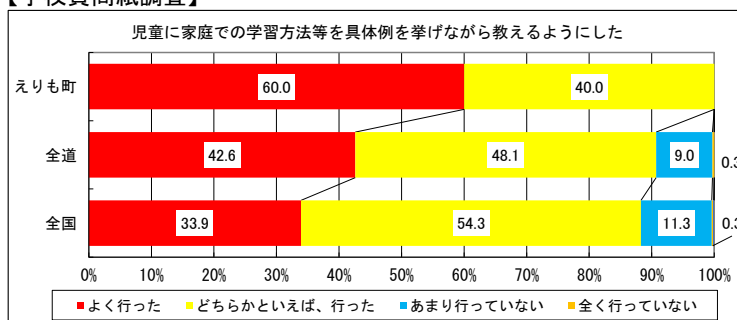
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A「話すこと・聞くこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国平均、全道平均を上回っている。 ○ 国語B、算数Bの活用を図る学力が十分身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、家で計画を立てて勉強している子どもが多くなるとともに、国語A「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の力が高まってきていると考えられる。 ○ 「チームえりも」で小・中・高全町あげて学力向上に取り組むことにより、校種間の連携、特に教職員の意識が一層高まってきていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で計画を立てて勉強しているという子どもの割合が全国・全道より高い。 ○ 将来の夢や目標を持っている子どもの割合が高い。 ○ 1日2時間以上ゲームをしている子どもの割合が高い。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校において、授業の冒頭で目標を示す活動を行った。 ○ 学校全体の学力の傾向や課題について、全教職員の間で共有している。 	

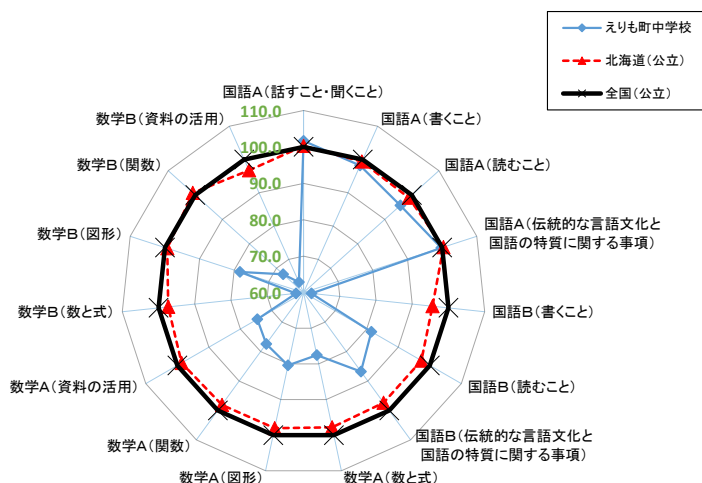
【えりも町の学力向上策】

- ◎ 基礎学力の定着を図る取組の強化
- ◎ 「チームえりも」で全町をあげた学校教育の充実
- ◎ 教育向上対策委員会による「えりも町学力向上推進」の計画・実施・評価・改善
 - 学校では数値による実態把握と到達目標、家庭学習では手引きの改善と「10分×学年+10分」の推進、積極的な他校との研修の実施。特に、次の3つの重点として取り組む。
 - ①10項目の学習規律の徹底
 - ②板書とノート指導の一体化
 - ③指導過程に位置付けた「定着」の段階の確実な位置付け

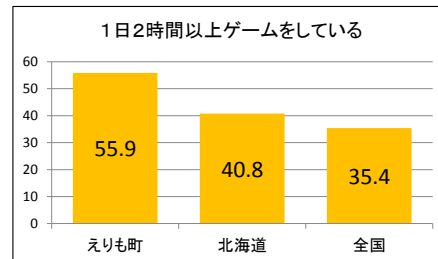
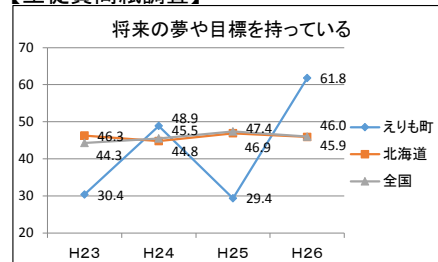
■ えりも町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:34名)

【教科全体の状況】

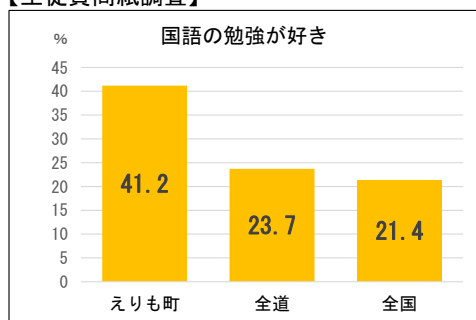
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



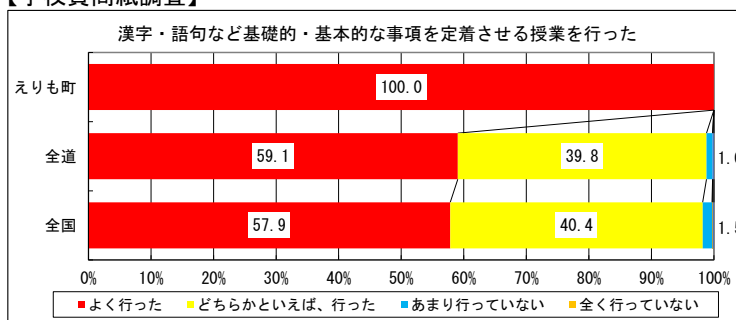
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「話すこと・聞くこと」が全国平均、全道平均を上回っている。	○ 各学校で、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったことにより、国語の勉強が好きと考える子どもが多くなるとともに、国語A「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力が高まってきていると考えられる。
生徒質問紙	○ 授業のはじめに目標が示されていたと思うという子どもの割合が全国・全道より高い。 ○ 将来の夢や目標を持っている子どもの割合が高い。 ○ 1日2時間以上ゲームをしている子どもの割合が高い。	
学校質問紙	○ 全ての学校において、授業の冒頭で目標を示す活動を行った。 ○ 学校全体の学力の傾向や課題について、全教職員の間で共有している。	○ 「チームえりも」で小・中・高全町あげて学力向上に取り組むことにより、校種間の連携、特に教職員の意識が一層高まってきていると考えられる。

【えりも町の学力向上策】

- ◎ 基礎学力の定着を図る取組の強化
- ◎ 「チームえりも」で全町をあげた学校教育の充実
- ◎ 教育向上対策委員会による「えりも町学力向上推進」の計画・実施・評価・改善
 - 学校では数値による実態把握と到達目標、家庭学習では手引きの改善と「10分×学年+10分」の推進、積極的な他校との研修の実施。特に、次の3つの重点として取り組む。
 - ①10項目の学習規律の徹底
 - ②板書とノート指導の一体化
 - ③指導過程に位置付けた「定着」の段階の確実な位置付け